

# 平成 30 年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 2)

平成 30 年 6 月 11 日  
宮城県水産技術総合センター

1 調査月日 平成 30 年 6 月 7 日

2 調査地点 右図の 2 定点

3 概 要 (詳細は下表のとおり)

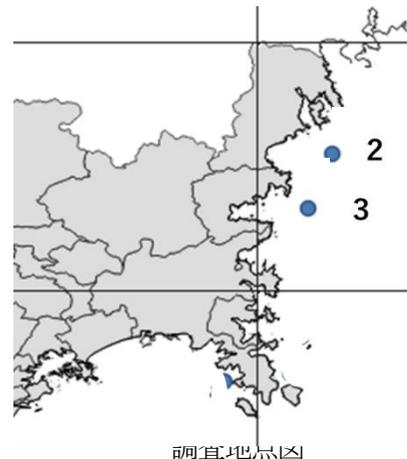
1) 水 温 : 表層で 16.9℃であった。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.)

出現数は、0~20 細胞数/L でした。

・下痢性貝毒原因プランクトンの *Dinophysis. acuminata* は、  
310~360 細胞数/L、*D. fortii* は 220~400 細胞数/L 確認されま  
した。



調査地点図

## 調査結果表 (4 定点)

St.	水深 (m)	測定層 (m)	水 温 (℃)	塩 分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
					<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
					6月7日		6月7日		6月7日		6月7日
2	511.0	0	16.9	-							
		10	18.3	34.3							
		20	16.1	34.3	0	-	400	-	310	-	0
		30	15.1	34.4							
		40	14.1	34.4							
3	154.0	0	16.9	-							
		10	12.2	33.5							
		20	10.8	33.6	20	-	220	-	360	-	0
		30	10.4	33.7							
		40	10.2	33.7							

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水